

IIJ 株主通信

Internet Initiative Japan



代表取締役社長 勝 栄二郎

2018年3月期 上半期決算のご報告 2017.4.1—2017.9.30
株式会社インターネットイニシアティブ 証券コード:3774

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、私たちの暮らしは情報通信技術の進歩により益々便利になってきており、コネクテッド・ホーム^(※1)やスマートファクトリー^(※2)等「人とモノがネットワークに繋がる社会」が近い将来、現実になろうとしています。そのような大きな流れのなか、弊社が係わるICT^(※3)関連市場は、IoT^(※4)・ビッグデータ^(※5)・AI^(※6)等の新たな技術活用もあり、変化をしながら拡大を続けております。

このような市場認識のなか、弊社は、2018年3月期上半期におきましても、ネットワーク、クラウド^(※7)、セキュリティ等のITリソースを一元的に提供できるサービス基盤を強みに、事業の持続的な成長に尽力いたしました。

ネットワークサービスでは、ビジネス分野でのインターネット活用の継続的な拡大等による通信トラフィックの増加でインターネット接続サービスの契約帯域が継続伸長し、法人向けモバイルサービスでも監視カメラ接続、デジタルサイネージ^(※8)等のモバイルソリューション案件が積み上がりました。クラウド関連サービスでは、IIJ GIOインフラストラクチャーP2で企業向けプライベートクラウド領域での存在感を高めてまいりました。セキュリティ関連サービスでは、大規模で多様化するDDoS攻撃^(※9)の増加を背景にIIJ DDoSプロテクションサービスを検討・導入する動きが目立ちました。IoT関連では、案件相談やPoC^(※10)が増加し、農林水産省の水田水管理を行う実証実験他に取り組むなど中期的な成長を期待しております。また、配信事業では、民放15社との合併会社JOCDN(株)にて、TVerや民放2社へのサービス提供を開始し、事業立ち上げを推進しております。

このような事業進捗により、2018年3月期上半期の連結業績は、売上高829.9億円(前年同期比12.0%増)、営業利益23.2億円(前年同期比18.9%増)、当社株主に帰属する四半期純利益14.9億円(前年同期比34.3%増)と増収増益となりました。

弊社は、国内初の商用ISPとして、国内最大級のインターネットバックボーンとサーバインフラストラクチャーを基盤に、信頼性と付加価値の高いICTサービスを提供してまいりました。今後も、培ってきたインターネット関連技術を基に事業成長を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

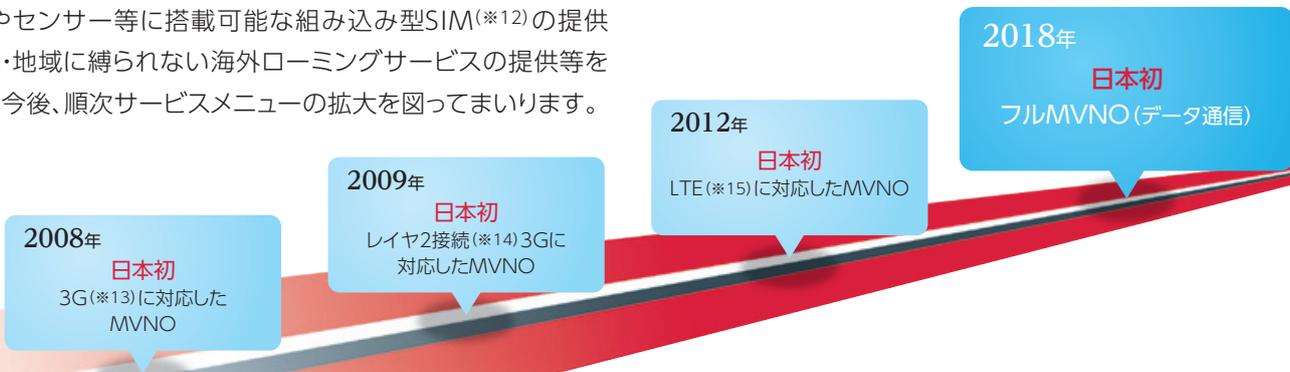


2017年12月

TOPICS —モバイル分野における先進的な取り組み—

弊社は、これまで日本初となるMVNOサービスを他社に先駆けて提供してまいりました。この度も、国内初の「フルMVNO^(※11)」として新たな商用サービスの開始を予定しております。監視カメラやセンサー等に搭載可能な組み込み型SIM^(※12)の提供や、国・地域に縛られない海外ローミングサービスの提供等を始め、今後、順次サービスメニューの拡大を図ってまいります。

IoT時代へ向け、法人向けモバイルサービス・ソリューションにおいて、更なる優位性を発揮し、ネットワーク社会の発展に貢献してまいります。



会社概要

会社名 株式会社インターネットイニシアティブ
本社所在地 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2
飯田橋グラン・ブルーム
電話:(03)5205-6500(代表)
E-mail: ir@iij.ad.jp

株主名簿管理人及び特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関する
お問い合わせ先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話 ☎(0120)232-711(通話料無料)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

コミコミセットは断然おトク!



IIJmioの「端末とSIMサービスを別々に契約」と「コミコミセット」の料金比較 (VAIO Phone Aの場合)

	1年間(12ヵ月)の合計(利用開始月は除く)	2年間(24ヵ月)の合計(利用開始月は除く)
端末とSIMサービスを別々に契約 ^{※1}	35,100円	69,475円 ^{※2}
コミコミセット	22,560円	59,275円 ^{※2}

※1 スマホ代(VAIO Phone A):725円+月額基本料(ミニマムスタートプラン):900円+音声通話機能付帯料:700円+通話定額3分:600円の合計:2,925円。

※2 端末代(24回払い)については、利用開始初月からの請求となるため、24ヵ月目の費用に端末代は含まれません。

用語説明

- (※1) 家のなかのモノや暮らしぶりをネットワークに繋げ、暮らしの利便性を高めた家のこと。
- (※2) IoTや産業用ロボットなどを活用し、モノづくり現場における生産管理の自動化と最適化を通して、作業プロセスの改善を行うことのできる生産環境を指す。
- (※3) Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。
- (※4) Internet of Thingsの略。モノのインターネットと言われ、これまでインターネットに接続されていなかった物体に通信機能を持たせることで、物体が情報通信を行うようになること。
- (※5) 従来のデータベース管理システム等では、記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群のことをいう。多くの場合、単に量が多いだけでなく、様々な種類・形式が含まれる非構造化データ・非定型のデータであり、更に、日々膨大に生成・記録される時系列性・リアルタイム性のあるようなものを指すことが多い。
- (※6) Artificial Intelligenceの略。人工知能。
- (※7) 従来、自社保有していた情報システム基盤やアプリケーション等を、自社保有せずともネットワークを通じたサービスとして利用できる仕組み。

- (※8) 屋外や店頭などに設置された液晶ディスプレイなどの映像表示装置。通行人等に案内情報や広告などを表示する装置で、看板やポスターなどを電子化したもの。
- (※9) Distributed Denial of Serviceの略。複数のマシンから大量の接続要求等を行い過剰な処理負荷を与えることでサービスを機能停止状態へ追い込むサイバー攻撃の一種。
- (※10) Proof of Conceptの略。新しい概念等が実現可能であることを示すための試行のこと。
- (※11) SIMカードを管理するデータベースであるHLR/HSS(SIMカードに紐付けられているユーザ情報を管理するデータベース)を自社で運用することにより、従来のMVNO(ライトMVNO)に比べ、自由なサービス設計が行えるMVNOのこと。
- (※12) Subscriber Identity Moduleの略。携帯電話の契約者情報を記録したICカードのこと。
- (※13) 3rd Generationの略。アナログ方式の第1世代携帯電話、デジタル方式の最初の方式である第2世代携帯電話に続く携帯電話の通信方式のこと。
- (※14) MNOとMVNO間の接続形態の一つ。MVNOが認証やIPアドレスの割り当て、セッション管理を自由に制御できる。
- (※15) Long Term Evolutionの略。携帯電話の通信規格で、第3世代(3G)の通信規格を高速化したもの。